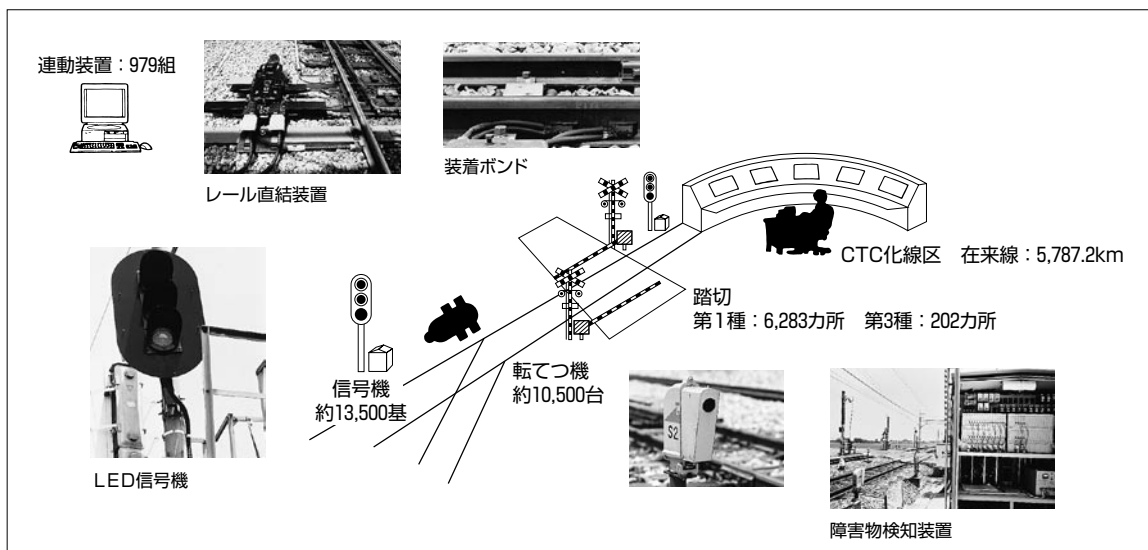


信号通信

● 信号設備

(2016年3月31日現在)



● 信号保安設備の現状

(2016年3月31日現在)

線区	区間	キロ数(km)	
CTC化線区	新幹線	東北、上越、北陸	1,194.2
	在来線	吾妻線ほか59線区	5,400.0
	電子閉そく	五能線ほか3線区	387.2
	計	—	6,981.4

線区	区間	キロ数(km)	
ATS線区	吾妻線ほか62線区	6,089.1	
ATC化線区	新幹線	東北、上越、北陸	1,194.2
	在来線	山手線ほか7線区	174.0
	計	—	1,368.2

注：営業キロで表記しています。

線区	区間	キロ数(km)	
PRC化線区	新幹線	東北、上越、北陸	1,194.2
	在来線	吾妻線ほか58線区	5,309.3
	計	—	6,503.5

● 運転方式別営業キロ

(単位：km) (2016年3月31日現在)

	ATC方式	閉そく方式				合計
		自動	特殊自動	連査	タブレット	
在来線	174.0	4,157.9	1,801.5	102.1	27.6	6,263.1
新幹線	1,194.2	—	—	—	—	1,194.2
合計	1,368.2	4,157.9	1,801.5	102.1	27.6	7,457.3

● 運転方式一覽図

凡例

(2016年3月31日現在)

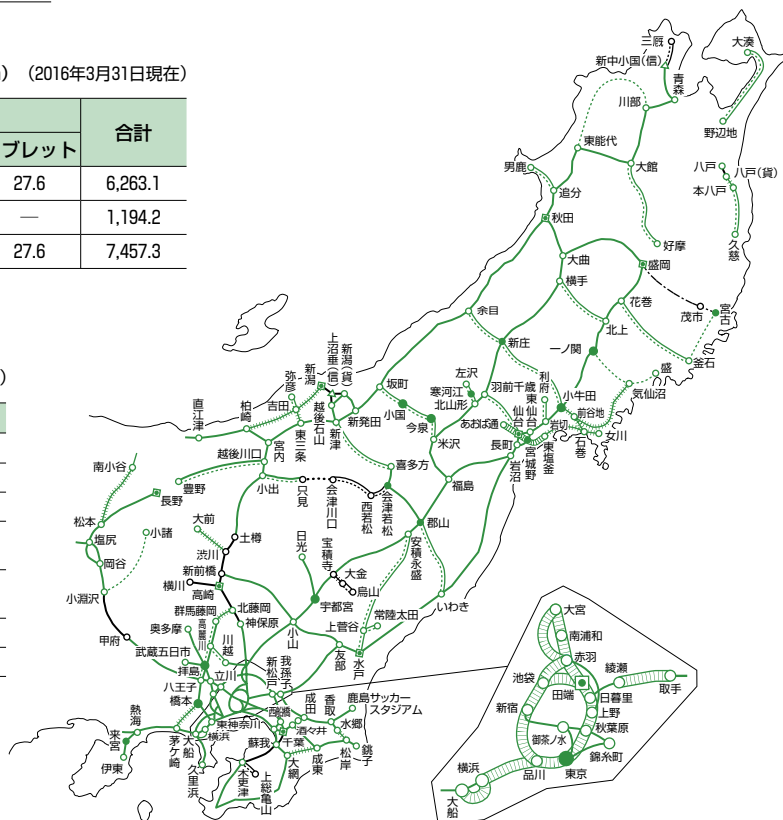
運転方式		CTC区間	非CTC区間
ATC方式			
閉そく方式	自動閉そく方式		
	自動閉そく(特殊)		
	特殊自動閉そく式(軌道回路検知式)		
	特殊自動閉そく式(電子符号照査式)		
非自動閉そく方式	連査閉そく式		
	タブレット閉そく式		

■ JR支社(CTCセンター設置)

● CTCセンター所在駅

△ 信号場、操車場

※新幹線はCTC(ATC方式)



■通信ネットワーク




安全・正確な列車運行を維持し、また経営情報を的確に把握するため、鉄道電話、指令FAX、IPネットワークなどの自営通信網を整備しています。これらは、光ファイバケーブルなどの伝送路、電話交換機あるいは通信搬送装置などで構成されています。

●主要通信設備概数

(2016年3月31日現在)

設備名称	数量
通信ケーブル	21,496.1km
光ファイバケーブル	8,931.1km
電話交換機	279組

●光ケーブル整備状況

	:新幹線光ケーブル
	:在来光ケーブル
	:在来メタルケーブルのみ



(2016年3月31日現在)

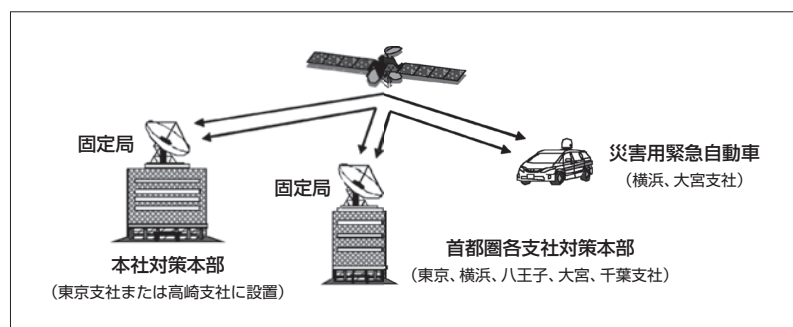
■衛星通信用無線

大規模な災害などで、地上の通信回線が使用不能になったときの連絡用や、三浦海岸地震計のバックアップ回線用として、通信衛星および地球局を使用しています。



災害用緊急自動車の外観

●災害連絡用衛星通信システム

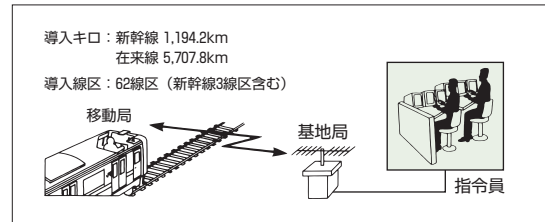


■列車無線

列車無線装置は、地上の指令員と走行中の列車の乗務員が直接通話できる装置です。これにより、正確な運行指示を与えるとともに、遅延情報、接続情報などの提供を行っています。

●列車無線設備





(2016年3月31日現在)



●列車無線整備の状況

列車無線整備状況

(2016年3月31日現在)

線種	デジタル方式	デジタル方式での無線通信による複信式 (データ伝送機能有)
	A・Bタイプ	A: 複信式 (送信、受信用の装置をもつ方式) B: 半複信式 (複信式と単信式を組み合わせた方式)
	Cタイプ	単信式 (送受信の切り換え方式 概ね全線で通話可能)
	部分Cタイプ	単信式 (送受信の切り換え方式 駅部で通話可能)
	未整備	未整備

